

令和2年度 高度教養教育科目として他部局に提供する科目一覧

(4) 大学院横断教育科目・リーディングプログラム科目

開講部局	時間割コード	開講科目名	単位数	対象学年						開講言語 日本語・Japanese 英語・English その他・Others	開講区分(学期) 春学期、夏学期、 春～夏学期、 秋学期、冬学期、 秋～冬学期、通年	曜日 月、火、 水、木、 金、土、 集中など 複数曜日 開講は併 記	時限 1,2,3,4, 5,6,7 集中講義 は空欄 複数時限 開講は併 記	履修の 人数制限	特記事項(任意) 履修の条件や求める知識 事前に修得しておくべき単位 集中講義の場合開講時期 など
				M1	M2	D1	D2	D3	D4						
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 超域イノベーション博 士課程プログラム	9A0003	システム思考	1	○	○	○	○	○	○	日本語・Japanese	春～夏学期	-	-	若干名	開講日時は超域HPで4月上旬 公開予定 他研究科の学生も受講可
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 超域イノベーション博 士課程プログラム	9A0004	デザイン思考	1	○	○	○	○	○	○	英語・English	秋～冬学期	-	-	若干名	開講日時は超域HPで4月上旬 公開予定 他研究科の学生も受講可
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 超域イノベーション博 士課程プログラム	9A0006	超域人文学	1	○	○	○	○	○	○	日本語・Japanese	夏学期	-	-	若干名	開講日時は超域HPで4月上旬 公開予定 他研究科の学生も受講可
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 超域イノベーション博 士課程プログラム	9A0007	超域社会科学	1	○	○	○	○	○	○	日本語・Japanese	秋～冬学期	-	-	若干名	開講日時は超域HPで4月上旬 公開予定 他研究科の学生も受講可
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 超域イノベーション博 士課程プログラム	9A0008	超域理工学・工学Ⅰ	1	○	○	○	○	○	○	日本語・Japanese	秋～冬学期	-	-	若干名	開講日時は超域HPで4月上旬 公開予定 他研究科の学生も受講可
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 超域イノベーション博 士課程プログラム	9A0009	超域理工学・工学Ⅱ	1	○	○	○	○	○	○	日本語・Japanese	秋～冬学期	-	-	若干名	開講日時は超域HPで4月上旬 公開予定 他研究科の学生も受講可
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 超域イノベーション博 士課程プログラム	9A0010	課題解決ケーススタディⅠ	1	○	○	○	○	○	○	日本語・Japanese	春～夏学期	-	-	若干名	開講日時は超域HPで4月上旬 公開予定 他研究科の学生も受講可
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 超域イノベーション博 士課程プログラム	9A0011	課題解決ケーススタディⅡ	1	○	○	○	○	○	○	日本語・Japanese	春～夏学期	-	-	若干名	開講日時は超域HPで4月上旬 公開予定 他研究科の学生も受講可
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 超域イノベーション博 士課程プログラム	9A0012	課題解決ケーススタディⅢ	1	○	○	○	○	○	○	日本語・Japanese	秋～冬学期	-	-	若干名	開講日時は超域HPで4月上旬 公開予定 他研究科の学生も受講可
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 超域イノベーション博 士課程プログラム	9A0013	超域特別講義Ⅰ	1	○	○	○	○	○	○	日本語・Japanese	春～夏学期	-	-	若干名	開講日時は超域HPで4月上旬 公開予定 他研究科の学生も受講可
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 超域イノベーション博 士課程プログラム	9A0015	超域特別講義Ⅲ	2	○	○	○	○	○	○	英語・English	秋～冬学期	-	-	若干名	開講日時は超域HPで4月上旬 公開予定 他研究科の学生も受講可
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 超域イノベーション博 士課程プログラム	9A0025	フューチャー・デザイン	1	○	○	○	○	○	○	日本語・Japanese	秋～冬学期	-	-	若干名	開講日時は超域HPで4月上旬 公開予定 他研究科の学生も受講可

令和2年度 高度教養教育科目として他部局に提供する科目一覧

(4) 大学院横断教育科目・リーディングプログラム科目

開講部局	時間割コード	開講科目名	単位数	対象学年						開講言語 日本語・Japanese 英語・English その他・Others	開講区分(学期) 春学期、夏学期、 春～夏学期、 秋学期、冬学期、 秋～冬学期、通年	曜日 月、火、 水、木、 金、土、 集中など 複数曜日 開講は併 記	時限 1,2,3,4, 5,6,7 集中講義 は空欄 複数時限 開講は併 記	履修の 人数制限	特記事項(任意) 履修の条件や求める知識 事前に修得しておくべき単位 集中講義の場合開講時期 など
				M1	M2	D1	D2	D3	D4						
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 インタラクティブ物質科 学・カデットプログラム	9C0017	物質科学特別講義Ⅰ	1	○	○	○	○	○	○	英語・English	通年	集中	-	20	基礎工・理・工の大学院生であ ればリーディング生以外も受講 可、開講時期などは事務局まで 要問合せ
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 インタラクティブ物質科 学・カデットプログラム	9C0018	物質科学特別講義Ⅱ	1	○	○	○	○	○	○	英語・English	通年	集中	-	20	基礎工・理・工の大学院生であ ればリーディング生以外も受講 可、開講時期などは事務局まで 要問合せ
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 インタラクティブ物質科 学・カデットプログラム	9C0019	物質科学特別講義Ⅲ	1	○	○	○	○	○	○	英語・English	通年	集中	-	20	基礎工・理・工の大学院生であ ればリーディング生以外も受講 可、開講時期などは事務局まで 要問合せ
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 インタラクティブ物質科 学・カデットプログラム	9C0020	科学史	2	○	○	○	○	○	○	日本語・Japanese	秋～冬学期	金	4	10	基礎工・理・工の大学院生であ ればリーディング生以外も受講 可
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 インタラクティブ物質科 学・カデットプログラム	9C0021	物質科学キャリアアップ特論a	2	○	○	○	○	○	○	日本語・Japanese	春～夏学期	月	3,4	10	基礎工・理・工の大学院生であ ればリーディング生以外も受講 可。4～6月の3・4限2コマ連続 の8回講義。
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 インタラクティブ物質科 学・カデットプログラム	9C0022	物質科学キャリアアップ特論b	2	○	○	○	○	○	○	日本語・Japanese	秋～冬学期	月	3,4	10	基礎工・理・工の大学院生であ ればリーディング生以外も受講 可。10～12月の3・4限2コマ連 続の8回講義。
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 ヒューマンウェアイノ ベーション博士課程プ ログラム	9D0001	ヒューマンウェアイノベー ション創 出論	2	○	○					日本語・Japanese	秋～冬学期	金	3,4	20	他研究科の学生も受講可
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 ヒューマンウェアイノ ベーション博士課程プ ログラム	9D0006	ヒューマンウェア基礎論I	2	○	○					日本語・Japanese	春～夏学期	金	6	20	他研究科の学生も受講可
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 ヒューマンウェアイノ ベーション博士課程プ ログラム	9D0007	ヒューマンウェア基礎論II	2	○	○					日本語・Japanese	秋～冬学期	金	5	20	他研究科の学生も受講可
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 ヒューマンウェアイノ ベーション博士課程プ ログラム	9D0010	ヒューマンウェア融合領域プロ ジェクト研究A	4			○				日本語・Japanese	通年	集中	-	20	他研究科の学生も受講可、博士 後期課程（5年一貫博士の3年 以上）のみ

令和2年度 高度教養教育科目として他部局に提供する科目一覧

(4) 大学院横断教育科目・リーディングプログラム科目

開講部局	時間割コード	開講科目名	単位数	対象学年						開講言語 日本語・Japanese 英語・English その他・Others	開講区分(学期) 春学期、夏学期、 春～夏学期、 秋学期、冬学期、 秋～冬学期、通年	曜日 月、火、 水、木、 金、土、 集中など 複数曜日 開講は併 記	時限 1,2,3,4, 5,6,7 集中講義 は空欄 複数時限 開講は併 記	履修の 人数制限	特記事項(任意) 履修の条件や求める知識 事前に修得しておくべき単位 集中講義の場合開講時期 など
				M1	M2	D1	D2	D3	D4						
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 ヒューマンウェアイノ ベーション博士課程プ ログラム	9D0011	ヒューマンウェア融合領域プロ ジェクト研究B	4			○				日本語・Japanese	通年	集中	-	20	他研究科の学生も受講可、博士 後期課程（5年一貫博士の3年 以上）のみ
国際共創大学院学位 プログラム推進機構 ヒューマンウェアイノ ベーション博士課程プ ログラム	9D0025	ヒューマンウェア価値創造実践	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	通年	集中	-	20	他研究科の学生も受講可
COデザインセンター	3B1103	対話術C(演劇コミュニケーション)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	木	3	30	
COデザインセンター	3B1107	対話術C(演劇コミュニケーション)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	木	3	30	
COデザインセンター	3B1112	ファシリテーション入門	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春学期	火	4	20	
COデザインセンター	3B1113	対話術A(哲学対話入門A)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春学期	月	4,5	15	
COデザインセンター	3B1114	対話術B(哲学対話入門B)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	集中		15	
COデザインセンター	3B1203	科学技術コミュニケーション入門A	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋学期	火	4	20	
COデザインセンター	3B1202	科学技術コミュニケーション入門B	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	夏学期	火	4	50	「科学技術コミュニケーション 入門A」を受講していることが 望ましいです。
COデザインセンター	3B1204	科学技術コミュニケーション入門B	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	冬学期	火	4	50	
COデザインセンター	3B1205	メディアリテラシー	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	冬学期	集中		30	
COデザインセンター	3B1206	ライティングA(クリエイティブ・ライ ティング)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	金	6	15	
COデザインセンター	3B1210	リテラシーC(地域情報活用法)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	集中		10	
COデザインセンター	3B1212	リテラシーD(映画で学ぶ社会の 見方)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	隔週 金	4,5	20	
COデザインセンター	3B1220	リテラシー(医療人類学講義)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	夏学期	水	3,4	10	
COデザインセンター	3B1221	リテラシー(人類学理論)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋学期	水	3,4	10	
COデザインセンター	3B1223	リテラシーA(SDGs:多文化サポ ート概論 I)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	火	5	50	
COデザインセンター	3B1225	リテラシーE(SDGs:地球市民の健 康管理 I)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	火	4	50	
COデザインセンター	3B1229	特別講義(映画の中の労働経済)	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	他	0	30	
COデザインセンター	3B1230	リテラシー(学生生活とキャリアプ ランのためのお金の知識)【日本 ファイナンシャルプランナーズ協 会協力授業】	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋学期	火	2	30	
COデザインセンター	3B1231	特別講義(経営人類学)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	月	3	20	

令和2年度 高度教養教育科目として他部局に提供する科目一覧

(4) 大学院横断教育科目・リーディングプログラム科目

開講部局	時間割コード	開講科目名	単位数	対象学年						開講言語 日本語・Japanese 英語・English その他・Others	開講区分(学期) 春学期、夏学期、 春～夏学期、 秋学期、冬学期、 秋～冬学期、通年	曜日 月、火、 水、木、 金、土、 集中など 複数曜日 開講は併 記	時限 1,2,3,4, 5,6,7 集中講義 は空欄 複数時限 開講は併 記	履修の 人数制限	特記事項(任意) 履修の条件や求める知識 事前に修得しておくべき単位 集中講義の場合開講時期 など
				M1	M2	D1	D2	D3	D4						
COデザインセンター	3B1232	特別講義(デザイン学－創造的 思考、方法、プロセス)	2	○	○	○	○	○		英語・English	春～夏学期	金	2	15	
COデザインセンター	3B1233	リテラシー(理工系人材に求めら れるCOデザイン力)	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	夏学期	火	6	100	
COデザインセンター	3B1301	身体表現術	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	夏学期	集中		20	
COデザインセンター	3B1302	感性表現術A(創作ワークショップ /演劇)	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	冬学期	隔週 木	6,7	30	対話術C(演劇コミュニケーション) を履修していることが望ま しい。 秋～冬学期開講の上記科目との 並行履修も可。
COデザインセンター	3B1303	感性表現術B(創作ワークショップ /音楽)	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	夏学期	集中		15	
COデザインセンター	3B1305	感性表現術D(メディアデザイン)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	木	6	15	
COデザインセンター	3B1306	表現術A(臨床記号論)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	金	3	15	
COデザインセンター	3B1307	表現術B(芸術と社会包摂)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	火	4	30	
COデザインセンター	3B1308	表現術C(ZINEを発行する)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	金	5	12	
COデザインセンター	3B1309	特別講義(Effectively Communicating Your Science & Research)	2	○	○	○	○	○		英語・English	春学期	木	4,5	30	
COデザインセンター	3B1311	表現術(工学コミュニケーションの 基礎)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	木	5	40	
COデザインセンター	3B1401	訪問術A(質的研究のデザインA)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春学期	月	6,7	20	参加型の授業のために、毎回出 席し、また相互に見知らぬ受講 生と積極的にコラボレーショ ンすることが受講の条件になり ます。
COデザインセンター	3B1404	訪問術E(マイノリティ・ワーク ショップ)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	金	4,5	20	
COデザインセンター	3B1512	協働術G(デザインラボ)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	夏学期	木	5,6	15	とくにありません。現地調査 (スケジューリングは授業内で決 めます)にはできるだけ参加し てください。
COデザインセンター	3B1514	医療協働術(サイコオンコロジー と健康心理学)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	集中		15	
COデザインセンター	3B1523	協働術D(共創型社会開発)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	通年	集中		20	
COデザインセンター	3B1525	特別講義(最先端技術を用いた 未来の街づくり)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋学期	火	5,6	30	
COデザインセンター	3B1526	研究手法入門	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	水	5,6	15	
COデザインセンター	3B1527	協働術(アートと生存)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	木	5	10	
COデザインセンター	3B1528	特別講義(Climate Change in Asia Pacific - Science and Solutions)	2	○	○	○	○	○		英語・English	秋～冬学期	金	3	20	
COデザインセンター	3B1529	協働術(Creative Media Project)	2	○	○	○	○	○		英語・English	秋～冬学期	火	3	20	

令和2年度 高度教養教育科目として他部局に提供する科目一覧

(4) 大学院横断教育科目・リーディングプログラム科目

開講部局	時間割コード	開講科目名	単位数	対象学年						開講言語 日本語・Japanese 英語・English その他・Others	開講区分(学期) 春学期、夏学期、 春～夏学期、 秋学期、冬学期、 秋～冬学期、通年	曜日 月、火、 水、木、 金、土、 集中など 複数曜日 開講は併 記	時限 1,2,3,4, 5,6,7 集中講義 は空欄 複数時限 開講は併 記	履修の 人数制限	特記事項(任意) 履修の条件や求める知識 事前に修得しておくべき単位 集中講義の場合開講時期 など
				M1	M2	D1	D2	D3	D4						
COデザインセンター	3B1530	協働術(Art of Collaboration - Urban Resilience Summer Program)	3	○	○	○	○	○		英語・English	春～夏学期	集中		10	
COデザインセンター	3B1532	協働術(地域・コミュニティと連携したSDGsの実践)	2	○	○	○	○	○		英語・English	秋～冬学期	集中		10	
COデザインセンター	3B1604	科学技術と公共政策A	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋学期	木	4	30	
COデザインセンター	3B1605	科学技術と公共政策B	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	冬学期	木	4	30	本科目の履修前に、「科学技術と公共政策A」を履修していることが望ましい。
COデザインセンター	3B1701	Global Threats and Sustainability	2	○	○	○	○	○		英語・English	秋～冬学期	木	3	30	
COデザインセンター	3B1703	科学史・科学哲学入門	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	夏学期	木	4	50	
COデザインセンター	3B1704	科学技術社会論入門	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春学期	木	4	50	
COデザインセンター	3B2203	COデザイン講義(Frontier of Sustainability Science)	2	○	○	○	○	○		英語・English	春～夏学期	集中		30	
COデザインセンター	3B2205	COデザイン講義(インターネット技術と法規制)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	水	4	10	
COデザインセンター	3B2206	COデザイン講義(イノベーションのジレンマ入門)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	木	6	40	
COデザインセンター	3B2504	科学技術コミュニケーション演習	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	夏学期	集中		30	
COデザインセンター	3B2505	COデザイン演習(マイノリティ・セミナー)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	金	6	20	
COデザインセンター	3B2506	システム思考	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	他	0	20	
COデザインセンター	3B2507	課題解決ケーススタディ(グローバルヘルスをデザインする)	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	集中		20	
COデザインセンター	3B2508	COデザイン講義(社会ソリューションと未来社会)	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春学期	金	5	20	
COデザインセンター	3B2509	社会の中の科学技術概論	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	水	5,6	30	
COデザインセンター	3B2510	COデザイン演習(ビジネスイノベーション: 製造業編)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	金	6	10	
COデザインセンター	3B2511	COデザイン演習(ビジネスイノベーション: 経営戦略編)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	金	6	10	
COデザインセンター	3B2512	ソーシャルイノベーション(方法論から実践まで)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	月	5	20	
COデザインセンター	3B2601	課題解決ケーススタディ(人口減少が引き起こす社会の変化)	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	他	0	20	
COデザインセンター	3B2602	課題解決ケーススタディ(人と獣が共生可能な地域づくり)	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	他	0	20	
COデザインセンター	3B2604	横断術(社会と臨床)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	集中		20	
COデザインセンター	3B2605	横断術(〈支縁=しえん〉のネットワークをひろげる)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	集中	他	0	20	
COデザインセンター	3B2606	横断術(場のデザイン - 創造的産業とのコラボレーション)	2	○	○	○	○	○		英語・English	秋～冬学期	集中		20	

令和2年度 高度教養教育科目として他部局に提供する科目一覧

(4) 大学院横断教育科目・リーディングプログラム科目

開講部局	時間割コード	開講科目名	単位数	対象学年						開講言語 日本語・Japanese 英語・English その他・Others	開講区分(学期) 春学期、夏学期、 春～夏学期、 秋学期、冬学期、 秋～冬学期、通年	曜日 月、火、 水、木、 金、土、 集中など 複数曜日 開講は併 記	時限 1,2,3,4, 5,6,7 集中講義 は空欄 複数時限 開講は併 記	履修の 人数制限	特記事項(任意) 履修の条件や求める知識 事前に修得しておくべき単位 集中講義の場合開講時期 など
				M1	M2	D1	D2	D3	D4						
全学教育推機構(大学院)	C50104	学術的文章の作法とその指導	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	木	3	20	
全学教育推機構(大学院)	C50401	大学授業開発論Ⅰ	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	夏学期	集中	他	24	・事前にウェブエントリー(6月7日(日)締切)を済ませており、受け入れ決定の連絡を受けていること ・全ての日程に参加できること ・講義は日本語で提供されるので、授業レベルの日本語を理解できる能力があること
全学教育推機構(大学院)	C50402	大学授業開発論Ⅰ	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋学期	集中	他	24	・事前にウェブエントリー(9月13日(日)締切)を済ませており、受け入れ決定の連絡を受けていること ・全ての日程に参加できること ・講義は日本語で提供されるので、授業レベルの日本語を理解できる能力があること
全学教育推機構(大学院)	C50403	大学授業開発論Ⅱ	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	他	他	8	・「大学授業開発論Ⅰ」が履修済みであること。 ・原則、高等教育機関において、90分以上の授業実践をする機会を自分で確保できること。
全学教育推機構(大学院)	C50404	大学授業開発論Ⅱ	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	他	他	8	・「大学授業開発論Ⅰ」が履修済みであること。 ・原則、高等教育機関において、90分以上の授業実践をする機会を自分で確保できること。
全学教育推機構(大学院)	C50405	大学授業開発論Ⅲ	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	冬学期	集中	他	20	・「大学授業開発論Ⅰ」が履修済みであること ・全ての日程に参加できること ・大学授業開発論Ⅱを履修していることが望ましい(未履修でも受講は可)。
全学教育推機構(大学院)	C50408	研究方法とアウトリーチのデザイン	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	木	5	24	・講義は日本語で提供されるので、授業レベルの日本語を理解できる能力があること
全学教育推機構(大学院)	C50501	上級専門日本語アカデミック・コミュニケーション)A	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	水	4	999	
全学教育推機構(大学院)	C50502	上級専門日本語アカデミック・コミュニケーション)B	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	水	4	999	

令和2年度 高度教養教育科目として他部局に提供する科目一覧

(4) 大学院横断教育科目・リーディングプログラム科目

開講部局	時間割コード	開講科目名	単位数	対象学年						開講言語 日本語・Japanese 英語・English その他・Others	開講区分(学期) 春学期、夏学期、 春～夏学期、 秋学期、冬学期、 秋～冬学期、通年	曜日 月、火、 水、木、 金、土、 集中など 複数曜日 開講は併 記	時限 1,2,3,4, 5,6,7 集中講義 は空欄 複数時限 開講は併 記	履修の 人数制限	特記事項(任意) 履修の条件や求める知識 事前に修得しておくべき単位 集中講義の場合開講時期 など
				M1	M2	D1	D2	D3	D4						
全学教育推機構(大学院)	C50505	上級専門日本語(アカデミック・リーディング)A	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	月	5	999	
全学教育推機構(大学院)	C50506	上級専門日本語(アカデミック・リーディング)B	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	月	5	999	
全学教育推機構(大学院)	C50507	上級専門日本語(アカデミック・ライティング)A	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	火	5	999	
全学教育推機構(大学院)	C50508	上級専門日本語(アカデミック・ライティング)B	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	火	5	999	
全学教育推機構(大学院)	C50509	キャリアデザインとビジネス・コミュニケーション	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	木	4	999	
全学教育推機構(大学院)	C50511	第二言語学習方法論	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	火	3	999	
全学教育推機構(大学院)	C50512	言語学習アドバイジング入門	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	火	3	999	
全学教育推機構(大学院)	C50601	データマイニングの基礎と実践	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	夏学期	集中		15	学生教育研究災害渉外保険(学研災)に加入のこと
全学教育推機構(大学院)	C50602	産業科学特論	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	金	4,5	30	
全学教育推機構(大学院)	C50702	実践ミュージアムコミュニケーション学	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	冬学期	他		5	第1回から第4回は金曜5限、第5回から第8回は1,2月の土曜午後(第1回で調整)また、授業の一環として、土曜日の午後に実施している博物館の「サイエンスカフェ」を聴講してもらいます。
全学教育推機構(大学院)	C50801	放射光構造生物学特論A	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	通年	他		10	詳細は蛋白質研究所HPを参照すること→ http://www.protein.osakau.ac.jp/
全学教育推機構(大学院)	C50803	蛋白質高次機能特論A	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	他		10	詳細は蛋白質研究所HPを参照すること→ http://www.protein.osakau.ac.jp/
全学教育推機構(大学院)	C50806	高磁場NMR構造解析特論B	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese 英語・English	通年	他		10	大学教養課程程度の物理化学・生物学に関する知識をもっていることが望ましい。博士後期対象 詳細は蛋白質研究所HPを参照すること→ http://www.protein.osakau.ac.jp/
全学教育推機構(大学院)	C50807	蛋白質計算科学特論B	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese 英語・English	通年	他		10	博士後期対象 詳細は蛋白質研究所HPを参照すること→ http://www.protein.osakau.ac.jp/

令和2年度 高度教養教育科目として他部局に提供する科目一覧

(4) 大学院横断教育科目・リーディングプログラム科目

開講部局	時間割コード	開講科目名	単位数	対象学年						開講言語 日本語・Japanese 英語・English その他・Others	開講区分(学期) 春学期、夏学期、 春～夏学期、 秋学期、冬学期、 秋～冬学期、通年	曜日 月、火、 水、木、 金、土、 集中など 複数曜日 開講は併 記	時限 1,2,3,4, 5,6,7 集中講義 は空欄 複数時限 開講は併 記	履修の 人数制限	特記事項(任意) 履修の条件や求める知識 事前に修得しておくべき単位 集中講義の場合開講時期 など
				M1	M2	D1	D2	D3	D4						
全学教育推機構(大学院)	C50808	蛋白質解析先端研究特論A	2	○	○	○	○	○		英語・English	通年	他		10	詳細は蛋白質研究所HPを参照すること→ http://www.protein.osakau.ac.jp/
全学教育推機構(大学院)	C51001	データ科学(機械学習)	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	火	5	999	
全学教育推機構(大学院)	C51002	データ科学のための数理	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	金	1	999	
全学教育推機構(大学院)	C51004	データ科学と意思決定	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	月	5	999	
全学教育推機構(大学院)	C51005	科学技術のための統計学	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	火	3	999	
全学教育推機構(大学院)	C51006	工学への数値シミュレーション	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	水	2	100	
全学教育推機構(大学院)	C51007	機械学習の実践	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	秋～冬学期	水	4	999	
全学教育推機構(大学院)	C51008	数理医学概論	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	夏学期	集中	他	999	DuEX CコースE-learningコンテンツを活用します。 学部生も聴講は可能です。
全学教育推機構(大学院)	C51101	放射線計測基礎1	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese 英語・English	秋～冬学期	集中	他	16	
全学教育推機構(大学院)	C51102	放射線計測基礎2	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese 英語・English	秋～冬学期	集中	他	16	
全学教育推機構(大学院)	C51103	放射線取扱基礎	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	集中	他	60	同じ内容の講義を吹田キャンパスと豊中キャンパスで日を変えて行います。C51104(豊中)
全学教育推機構(大学院)	C51104	放射線取扱基礎	1	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	集中	他	60	同じ内容の講義を吹田キャンパスと豊中キャンパスで日を変えて行います。C51103(吹田)

令和2年度 高度教養教育科目として他部局に提供する科目一覧

(4) 大学院横断教育科目・リーディングプログラム科目

開講部局	時間割コード	開講科目名	単位数	対象学年						開講言語 日本語・Japanese 英語・English その他・Others	開講区分(学期) 春学期、夏学期、 春～夏学期、 秋学期、冬学期、 秋～冬学期、通年	曜日 月、火、 水、木、 金、土、 集中など 複数曜日 開講は併 記	時限 1,2,3,4, 5,6,7 集中講義 は空欄 複数時限 開講は併 記	履修の 人数制限	特記事項(任意) 履修の条件や求める知識 事前に修得しておくべき単位 集中講義の場合開講時期 など
				M1	M2	D1	D2	D3	D4						
全学教育推機構(大学院)	C51201	現代キャリアデザイン特論	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	水曜	6	30	受講生と相談の上、授業の半分 以上を1泊2日の合宿形式で実 施する予定です。 ただし、日程と場所と予算につ いては履修登録した受講生と相 談して決めます。 自分史を作成したり、人生すご ろくを作成したりして、受講生 と議論する内容が含まれていま す。個人作業だけでなく、ペア ワークやグループワークもあり ます。 場合によっては、合宿形式を実 施しない可能性もありますの で、ご了承ください。 初回は4/15(水)18:00-19:30 @HALC2(豊中A312)の予定で す。
全学教育推機構(大学院)	C51301	デジタルヒューマニティーズ概論	2	○	○	○	○	○		日本語・Japanese	春～夏学期	水	5	30	